



Dairy Japan

2006年 1月号

NO.13

(1月23日発行)

最新 Dairy Japan を今すぐチェック!! まだまだ農場の生産性は上がる!!

牛舎に直行!

NO.05 物言えぬ牛たちが体を張って訴えていませんか?

酪農場の生産性を上げるためには、牛たちに快適な環境を提供し、生体の維持と産乳に必要な栄養を十分に得てもらうことが大切です。でも、きちんと栄養計算されたエサを与えても、窮屈・危険な環境では、牛たちは採食すること、飲水すること、横臥することをあきらめてしまいます。牛たちが快適に過ごせているか、牛体の傷を通してチェックしてみましょう。牛舎に直行してチェック!

《 Q U E S T I O N 》

牛たちの身体に擦れた痕がある?	YES	NO
牛たちの身体に腫れているところがある?	YES	NO
牛たちの身体に傷がある?	YES	NO

最新号よりつまみ読み

牛が腰抜けしちゃった! 乳熱予防のポイントと獣医さんが来るまでの緊急事態対処法 井出美次(十勝NOSA1)

こんなところが乳熱の引き金になっている! 乳熱の原因と予防法、それでも発症してしまった場合の対処法(ケア)について、きちんと頭に入れておこう!

《ハイライト~忙しいあなたのために~ ポイントはここ! 》

[1]乳熱の予防として、

第一は、「与えている」=「食っている」ではないことを認識し、DMIを制限するストレス要因をできるだけ排除するとともに、採食が制限される分娩前移行期(分娩前3週間~)には、濃厚飼料を増し飼いする。

第二は、泌乳期から乾乳前期まではカルシウムを十分に摂取させること。泌乳期から乾乳前期にカルシウムの給与が十分でなければ、いざ必要なときに血液中にカルシウムを溶出できない。

第三は、ミネラルバランス・コントロールとして、乾乳後期の飼料中カルシウム、カリウム、ナトリウム、リンなどは制限する。

[2]補助的な予防法として分娩予定日の8日から2日前までにビタミンB₃の注射や分娩直後の経口カルシウム剤の投与がある。5歳齢以上の分娩牛には積極的に実施したほうがよい。

[3]乳熱は、症状を出さない潜在性のものから重症のものまで、その症状はさまざまであることから、牛が出すサインを見逃さないようにする。

[4]乳熱の二次的障害が廃用の要因となっていることが少なくない。それらを減少させるとともに、分娩時のストレスをなくすために、土間分娩房が推奨される。

・・・詳しくは Dairy Japan 2月号 P16へ

FOR YOUR INFORMATION (出版案内)のみ必要な方は FAX 番号をご記入の上、弊社まで FAX にてご連絡ください。

FAX 番号 _____

話題 & ニュース

消費減退と国際化に本格的に取り組まなければならない

東京大学大学院・本間正義教授は、Dairy Japan のインタビューに対して、WTO 農業交渉合意を控えた今の期間は、ウルグアイラウンド交渉で決められたルールを実施するまでのいわば執行猶予期間。これまでどれだけの準備をしてきたか。

関税引き下げにかかる重要品目の扱いについて、輸入国、輸出国、途上国とアメリカの4者で意見が出揃っており、それらをベースに今後交渉が進む。EU や途上国の提案をベースに考えると重要品目の扱いは5%であり、日本のタリフライン（関税品目）1326 から考えるとわずか70～80品目であり、乳製品を保護できるかどうかは不透明である。

これらのことや国内政策のポイントを加味すれば、競争力と担い手育成の観点から農産物の差別化が必要だ。そして差別化は味だけでなく、農産物の安全や安心、品質でも可能ではないか？

と答えた。2月3日に中酪が18年度計画生産数量を決定する予定だが、来年度の骨組みは「需要に合わせた出荷抑制」と発表されている。今後の生き残りを図るためには消費者に認められる生乳品質と安全・安心の提供がカギと言えそうだ。

FOR YOUR INFORMATION

《 2006年2月 Dairy Japan 臨時増刊号 》

牛たちに“もう一口多く”エサを食べてもらうための戦略 ～いかにして乾物摂取量(DMI)を高めるか～

冊

B5判 94頁 定価3,800円(税・送料込み)

乾物摂取量を最大にするためには優れた管理が要求され、そこには牛自体、飼料、施設・管理など、多くの要因が影響します。牛たちに“もう一口多く”エサを食べてもらうための基本と最新情報を、この1冊に収めました。“やらなければならないこと”、“やってはいけないこと”がやさしく解説されています。

《 2006年1月発行 新刊書籍 》

「だれも教えてくれなかった、農場をうまくやる方法」 ～コーチングであなたの農場が100倍魅力的になる～

冊

山本 浩通(宮崎県・開業獣医師) 著 B6変形判・160頁 定価:1,500円(税込、送料別)

農家はもちろん、獣医師、普及員、農協の職員、関係団体の職員、乳業会社の方、農業機械会社の方、飼料会社の方、試験場や大学関係の方など みんなに役立つこと請け合いです！

*****注文書***** 見積書・納品書ご希望の際、まとめてご購入の際は、ご相談ください。

書籍は臨時増刊号とは異なる出版物です。ご注文の際は、お間違いのないようご注意ください。

お名前：(フリガナ)

(課： _____ 担当者名 _____)

ご住所：〒 _____

TEL / _____ FAX / _____

e-mail / _____ **メルマガに変更する** x

お支払い方法(いずれかにをつけてください)

1 一括払い(商品と一緒に郵便振替用紙を同封します。) 2 農協から控除/組勘 (農協名: _____)

3 外ジット・カード VISA MasterCard カード有効期限 [(月) _____ / (年) _____]

カード番号(16桁)[_____ - _____ - _____]

(株)デーリィ・ジャパン社 〒162-0806 東京都新宿区榎町75番地

TEL03-3267-5201 FAX 03-3235-1736 E-mail: milk@dairyjapan.com

ホームページリニューアル!! 「支局だより」公開中! SSL対応で安心ショッピング!!

今すぐアクセス www.dairyjapan.com

このFAXが不要な方は、をつけて送信してください。

